



第7号

長後地区郷土づくり推進会議  
地域人材発掘・育成事業部会  
部会長 山田 祥子  
発行日 2025年8月10日

★機関紙「つなぐ」は、長後地区のボランティア団体情報の発信を通して、地域の皆さまや読んでいただいた方々にボランティアに興味を持ってもらい、活動の参加を呼びかけるために発行しています。



2025年2月23日（日）に「第3回長後ボランティアまつり」を開催しました！体育室では、11の団体（消防団第23分団、地区民児協・地区社協・市社協・ボラセンなごみ、長後フロンティアプロジェクト、花いっぱい運動・人材バンク「和・輪・話」・えにしんぐ、チームFUJISAWA2020・プラザむつあい）が趣向を凝らしそれぞれの活動をPRしました。

## 第3回長後ボランティアまつり を開催しました！！！！



各団体ブースを回るスタンプラリーを実施し、スタンプを集めた約300名の方々にふじキュン♡バッジをプレゼントしました。ボランティアまつりを通して生まれた来場者とのコミュニケーションや団体同士の交流が、長後地区での今後のボランティア活動に1つでもつながることを願います。



屋外スペースでは、ボランティア団体による模擬店や遊び体験コーナーのほか、長後商店街協同組合・藤沢市キッチンカー事業者連絡協議会にご協力いただきイベントを盛り上げました！寒い日でしたが、青空の下、多くの来場者が長後の今、未来について語り合いました…！！！！

# 参加した方々の声

## ～来場者・出展団体から～

- 地域密着で素晴らしいイベントでした！
- 小さい子ども達が大きくなった時にボランティアに参加してくれますように…！
- 風船よかった！
- 消防団が楽しみです！
- 予定にあった屋外催しがなくなったのは残念だった。
- 団体の皆さんがとても優しく、楽しく、そして模擬店やキッチンカー料理が美味しく、良かったです。
- 他団体の活動を知り、楽しく参加することが活動理解につながると実感しました。
- 創意工夫しながら今後も継続を。



## ～中高生ボランティアの皆さんから～

- 幅広い年代の方々と交流できたことが印象的だった。出会いがあった！
- 色々な人からのありがとうが嬉しかった。
- 声をかけること自体が勉強になった。
- 若い年代に来てもらう工夫ができたらいいなと思った。
- 前よりも成長した気がしたので次に活かしたい！
- 広報・PRに力を入れたら更なる集客につながると思った！
- 知らなかったボランティアの存在に気付くことができた。
- 普段とは違う形で地域に貢献できた！



## 第3回長後ボランティアまつりを終えて

今回は、11団体それぞれの活動内容を少しでも理解していただけたと思います。集まった意見・声をすべて載せることはできませんでしたが、たくさんの方々にボランティア活動に関心を持っていただけたと感じています。長後では多くのボランティア団体がまだまだ活動を知られていないと感じているので、今後のボランティアまつりにこれからも参加していただきたいと願っております。

多くの方々のご参加ありがとうございました！

